LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

No. 182

特集　LGWAN-ASPとは？

LGWAN-ASPとは、府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等がASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）として、LGWANを通じて、サービス利用者である地方公共団体に各種行政事務サービスを提供するものです。平成14年度に登録が始まり、平成15年度から本格的なサービスが開始されました。以来、多くのサービスが提供され、地方公共団体において利用されています。

今回は、LGWAN-ASPの目的及び構成について説明した後、現在のLGWAN-ASPサービスの登録状況の概要、LGWAN-ASPサービスの利用方法について解説し、最後に、第四次総合行政ネットワークの情報提供についてお知らせします。

1　LGWAN-ASPの目的

LGWAN-ASPは、地方公共団体が品質及びサービスレベルの高いアプリケーションを共同利用することにより、地方公共団体間のIT格差を軽減するとともに、地方公共団体のIT化を促進することを目的としています。また、地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムを導入・運用が可能になることも目的の一つです。

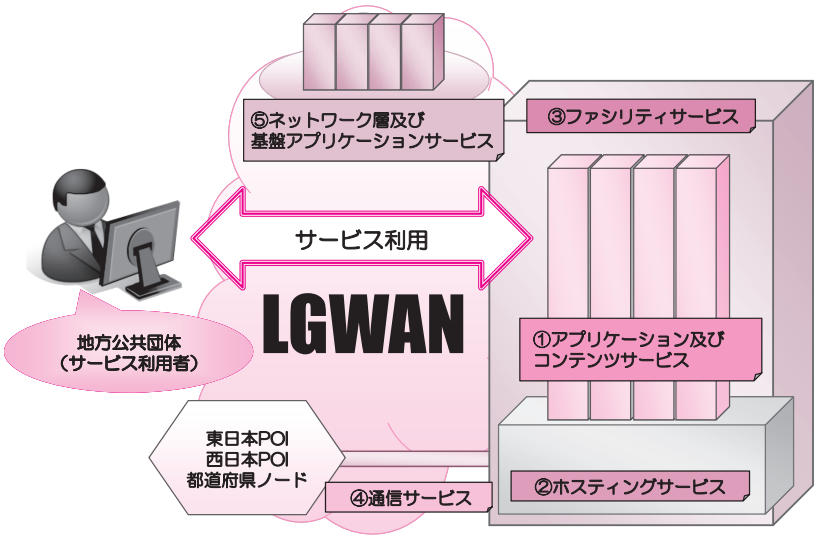
2　LGWAN-ASPの構成

LGWAN-ASPは、図－1に示すとおり、五つのサービス層から構成されています。LGWAN-ASPサービス提供者は、これらのサービスを地方公共団体又は他のLGWAN-ASPサービス提供者に対して提供します。

①アプリケーション及びコンテンツサービス

各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供

図－1　LGWAN-ASPの構成



します。

②ホスティングサービス

アプリケーション及びコンテンツサービスが稼働するために必要となるサーバ機器や通信機器を提供するとともに、その運用管理を行います。

③ファシリティサービス

ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、電源及び空調、そのための建屋等のファシリティ設備を提供します。

④通信サービス

ホスティングサービスの構成機器をLGWANに接続するための専用回線を提供します。

⑤ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス

IPアドレス、ドメイン名管理、基本プロトコル群（DNS、SMTP、NTP等）及びアプリケーション基盤（認証基盤（LGPKI）、ディレクトリ基盤等）を提供します。これらは、LGWAN運営主体が自らの基盤サービスとして提供しています。

以上のサービスの中で、地方公共団体が利用者となって直接利用するのは、①のアプリケーション及びコンテンツサービスです。

3 LGWAN-ASP登録数の推移

LGWAN-ASPサービスの登録数は、図－２のとおり年々増加しています。地方公共団体が直接利用するアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数も年々増加しており、その種類も増えています。

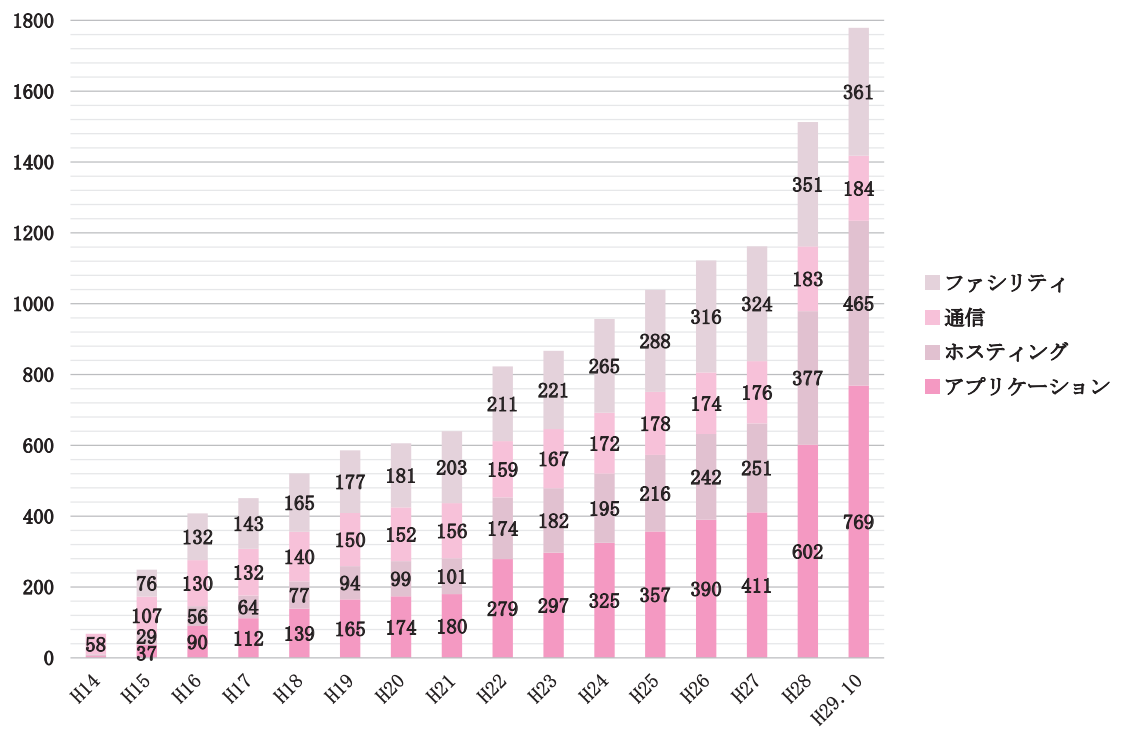
4 アプリケーション及びコンテンツサービスの分析

図－２のとおり、平成29年10月２日現在のアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数は769件ですが、その提供者の内訳は図－３のとおりです。全サービスの約半数を地方公共団体が提供しています。

LGWAN-ASPサービスとして提供されている行政事務サービスには、様々なものがあります。

LGWAN-ASPサービスを開始する際、もしくは

図－２　LGWAN-ASP登録数の推移

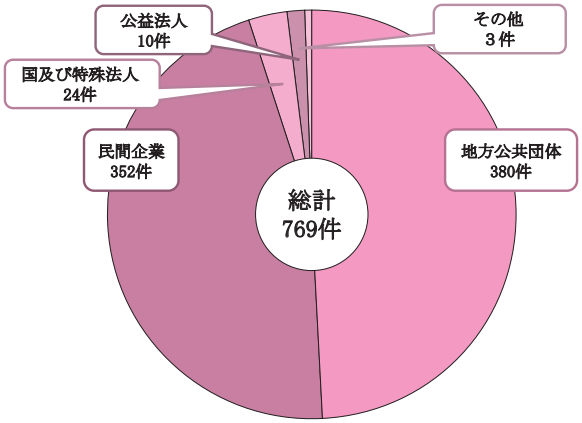


変更する際に、LGWAN-ASPサービス提供者がLGWAN運営主体に提出する申込書には、行政事務分野（提供するサービスがどのような分野で利用されるものであるか）及びシステム分野（どのようなシステム的特徴があるか）について記載する項目があります。これらをまとめたのが、図－４と図－５です。

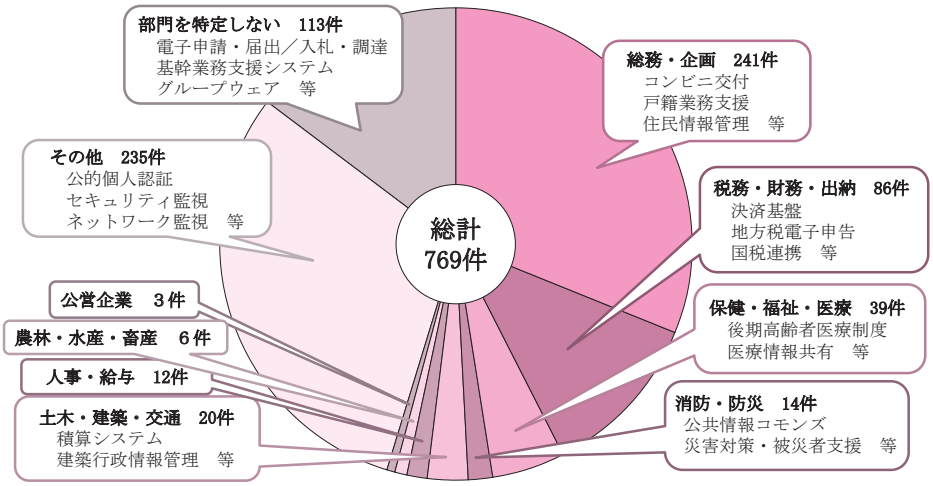
図－４から、「総務・企画」と「税務・財務・出納」において利用されるアプリケーション及びコンテンツサービスが全体の約半数近くを占めていることが分かります。近年の傾向としては、セキュリティ監視やネットワーク監視等の含まれる「その他」項目が増加傾向にあり、特定の行政事務分野に分類できない、多様なアプリケーションサービスが提供されています。

また、図－５からは「住民票等証明書自動交付」が全体に占める最も割合の高いサービス分野であることが読み取れます。昨年の同時期（平成28年９月１日）時点の統計では、当該分野項目の件数は184件であったことから、登録件数が約１年で約127％増となったこととなり、高い増加傾向

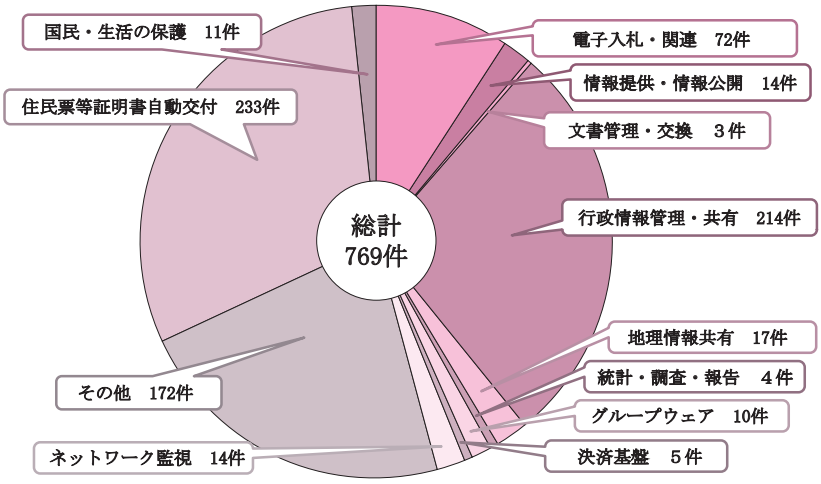
図－３　アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者



図－４　行政事務分野別登録状況



図－５　システム分野別登録状況



にあることが分かります。

5 アプリケーション及びコンテンツサービスの利用方法

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの利用を希望する地方公共団体は、そのサービスの提供者が定める利用約款等に基づいて利用許諾を得ることにより、サービスを利用することができます。その際、LGWAN運営主体への手続きは原則として必要ありません。

現在登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの概要については、掲載を希望しないサービスを除き、サービス分類（システム分野）又は提供地域ごとに整理の上、インターネット上の地方公共団体情報システム機構ウェブサイトにサービスリスト（https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html）として掲載しています。また、月刊J-LISに不定期で掲載している「LGWAN-ASP サービスのご紹介」のコーナーでは、LGWAN-ASPに登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの紹介を行っています。過去に掲載された記事は、同じく地方公共団体情報システム機構ウェブサイトの月刊J-LIS掲載記事（https://www.j-lis.go.jp/lgwan/report/monthly/cms_15476967.html）から閲覧することができます。

新規システムの導入や既存システムの更改の際は、セキュアなネットワークであるLGWANを利用したLGWAN-ASPサービスの利用をぜひともご検討ください。

6 第四次総合行政ネットワークに関する情報提供について

月刊J-LIS平成29年８月号※1及び９月号※2にてご案内いたしましたとおり、平成30年度から、順次、第四次総合行政ネットワーク（以下「第四次LGWAN」という。）へ移行し、平成31年度から本格稼働します。

第四次LGWANの概要については、前述の本誌掲載号に譲りますが、第四次LGWANに関する最新情報等については、逐次、以下のポータルサイトにて提供しておりますので、ぜひご利用ください。

また、第四次LGWANへの移行に伴い、LGWAN-ASP接続料金の改定を予定しております。改定後の料金表については、後日、情報提供を予定しております。

・総合行政ネットワークポータルサイト（LGWAN接続団体向け）
http://center.lgwan.jp/nextlgwan/index.html
・LGWAN-ASPポータルサイト(LGWAN-ASPホスティングサービス提供者向け)
https://www-asp.lgwan.jp/Ainf/4th_plan/index.html

※１　月刊J-LIS平成29年８月号　https://www.j-lis.go.jp/lgwan/report/monthly/cms_15476967.html
※２　月刊J-LIS平成29年９月号　https://www.j-lis.go.jp/lgwan/report/monthly/cms_15476967.html

LGWAN-ASPサービス登録／接続状況（平成29年11月１日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の登録／接続状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録：780件	■ホスティング	接続：467件
■通信	登録：184件	■ファシリティ	登録：361件

登録／接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html